



Consumer
Technology
Association

CES2024@LAS VEGAS 視察レポート



TOKYO R&D



CESの主催者であるCTA(Consumer Technology Association: 全米民生技術協会) 設立100周年

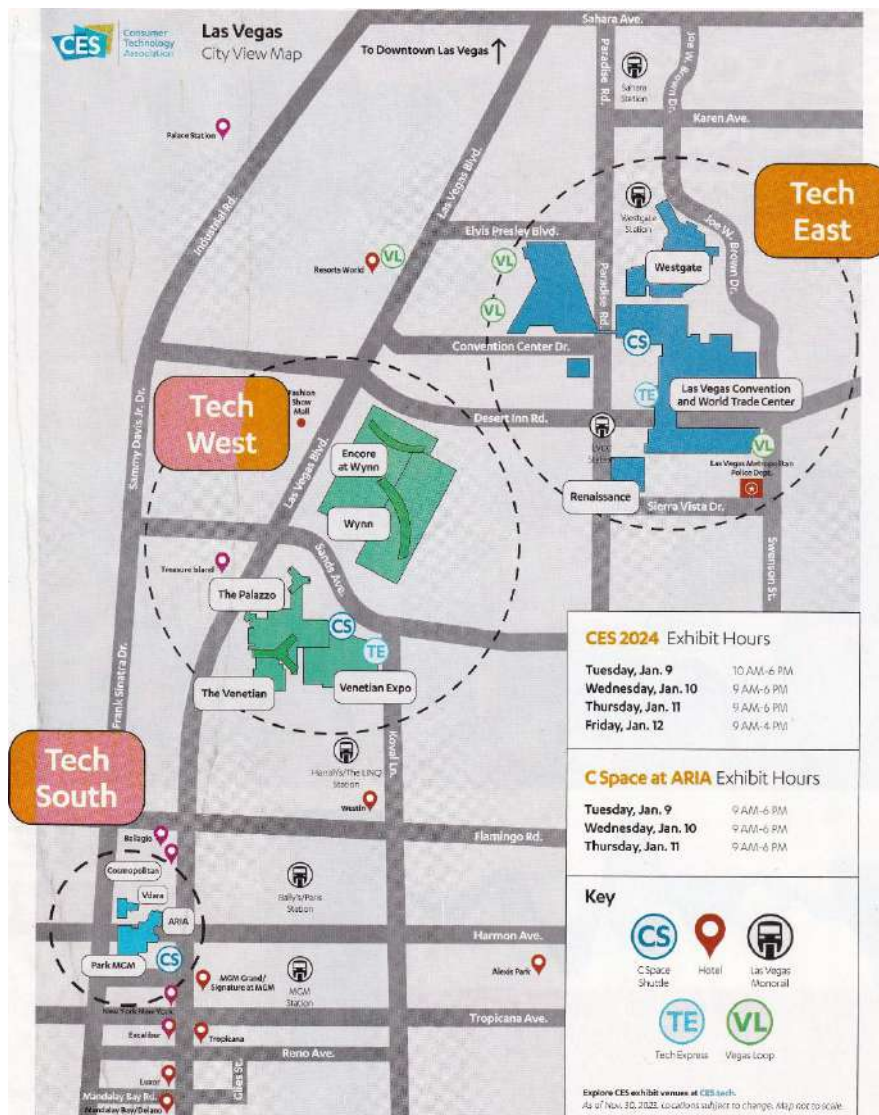
CES2024（旧Consumer Electronics Show）

- ・ 会期：2024年1月7日～12日（7, 8日はメディアデー）
毎年1月開催
- ・ 場所：アメリカ ネバダ州 ラスベガス LVCC（ラスベガス・コンベンション・センター）
- ・ 主催：CTA（全米民生技術協会 Consumer Technology Association）
- ・ 特記：世界最大の電子機器の見本市。業界向けの見本市で、一般への公開はされていない。
- ・ 登録料：\$350.（約5万円）

	来場者	来場者国	出展者数	セッション登壇者数
2024年	135,000+	150	4,300 (1,400スタートアップ)	1000+
2023年比	40%増	40%増	—	—

旧家電ショーだが、近年モビリティの出展も多くなった。今回はモビリティを中心にレポートする

自動車をメインとした会場



CES会場全体(3エリア)



Tech East

Tech East 展示床面積 180,290.5 m²
自動車の展示は、West Hallが中心
(東京ビッグサイト展示床面積 115,420 m²)



新型AFEELAを発表



新型AFEELAの内装モックアップ



次世代EV向けの新「Hマーク」エンブレムを発表



新グローバルEV「Honda 0シリーズ」を発表



セダン「SALOON」のEVコンセプトカー



ミニバン「SPACE-HIB」のEVコンセプトカー



「Concept CLA」



ベトナムの新興EVメーカーも出展



「VF8」



「VF3」



「VF9」



「WILD」



トルコの国民車



セダンの「T10F」



SUVの「T10X」



「Pelkan」。ヤマト運輸に500台納入予定だと言う



MIH: 台湾・鴻海(ホンハイ)精密工業が主導するEV開発のコンソーシアム 「PROJECT X」



台湾のEVスクーター「gogoro」の交換式バッテリーを採用



「FIVE RS」1000馬力のモーターで320km/hの性能だと言う。MULLENは他にEVトラックなども出展



現代（ヒョンデ）グループのKIA 屋内と屋外に展示



「PV5」。EASY SWAP という、リアボディ交換式のコンセプトカー



常州浩万新能源。二輪界のテスラと言われる。EVバイクのコンセプトモデル



VWのEVミニバン「ID. BUZZ」がベース



Amazon傘下。ラスベガスの公道で、試験走行を行っている



スケートボード型EVシャシのPIX Moving社の「RoboBus」



いすゞ・エルフがベース。いすゞ自動車、伊藤忠商事も出資する自動運転のスタートアップ



EVも販売する小鵬汽車。公道も走行できるeVTOL「FlyingCar」



電動のスキッドステアローダー。左右のタイヤの回転差で旋回する



電動自動運転トラクターのコンセプトマシン「New Agri Concept」



「DEVERON」電動自動運転建機。4輪独立制御され旋回が可能



「R1700 XE」電動の坑内採掘用ロードホールダンプローダー。排ガスなし、静音等が特徴



GVW7.5tonと8,8tonをラインナップにもつ。EVスーパーカーのMULLENの関連会社



写真のピックアップトラックの他に、同型のSUVタイプもラインナップする



RIVIAN社の出展は無かったが、ピックアップの「R1T」を中心に数台が展示されていた



トヨタのFC(燃料電池)システムを搭載する。ロングビーチ港で実証試験していたもの



IVECOの車体をベースにFCEV化。会場外の公道をデモ走行していた



会場外の公道をデモ走行していた







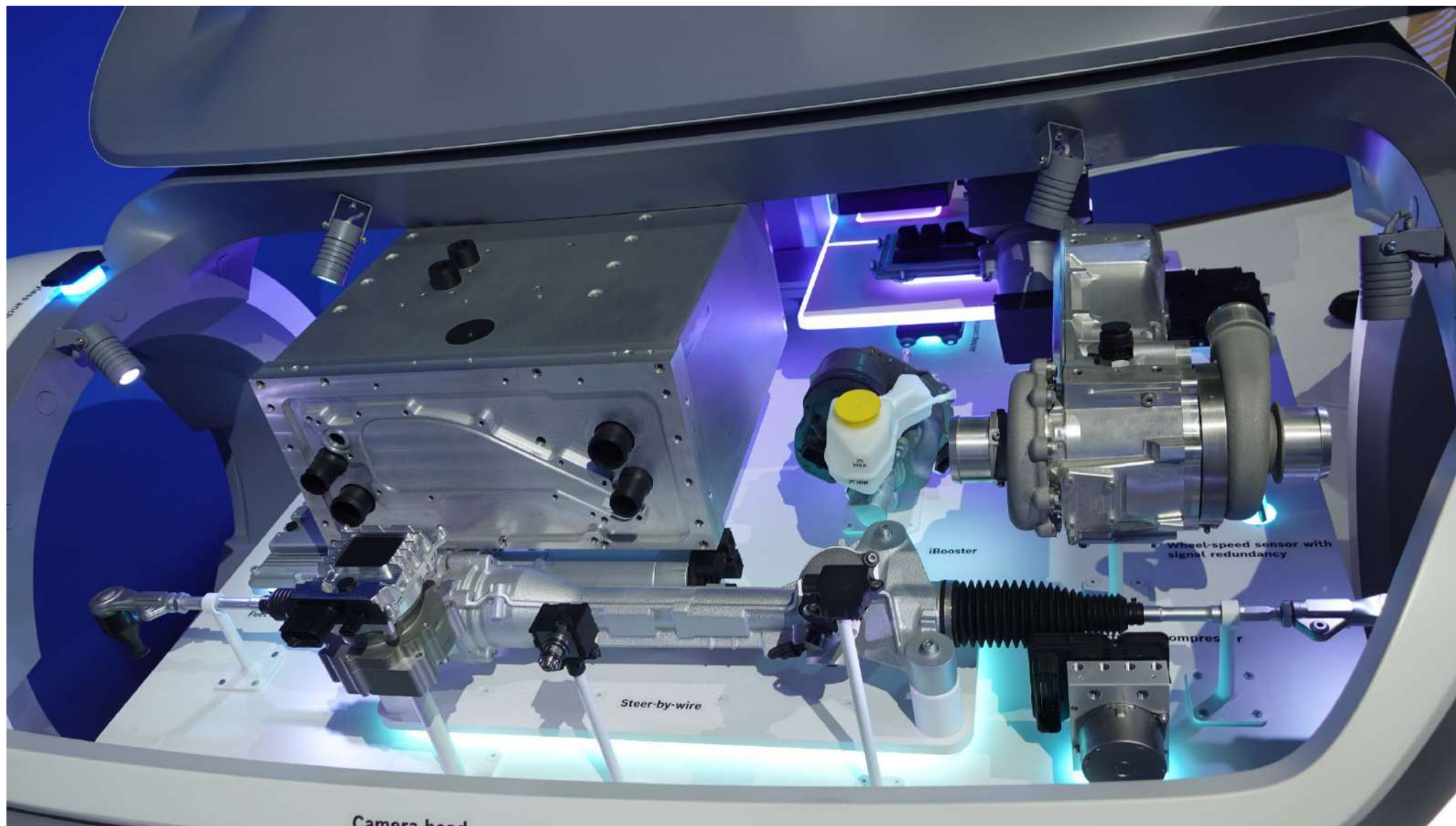


ベース車両は、「フォード・マスタング マッハ E(EV)」





水素燃焼エンジン部品開発に取り組むことを発表



電動コンポーネントも展示





「ChatGPT」を搭載したフォルクスワーゲン「ID.7」



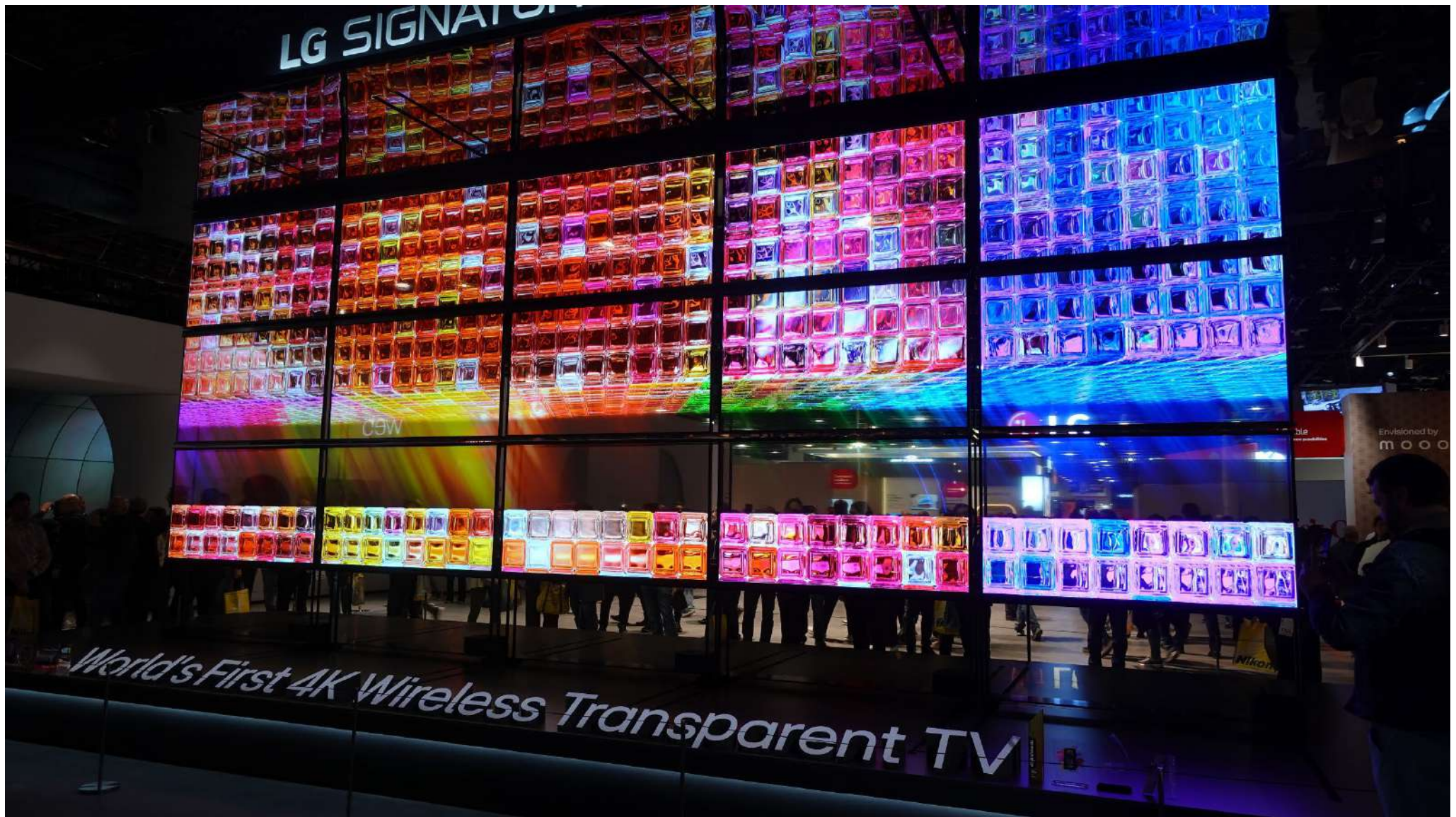
左右非対称のキャビンで、まるで2台展示している感じだった



グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピード2022に出場し記録をもつ



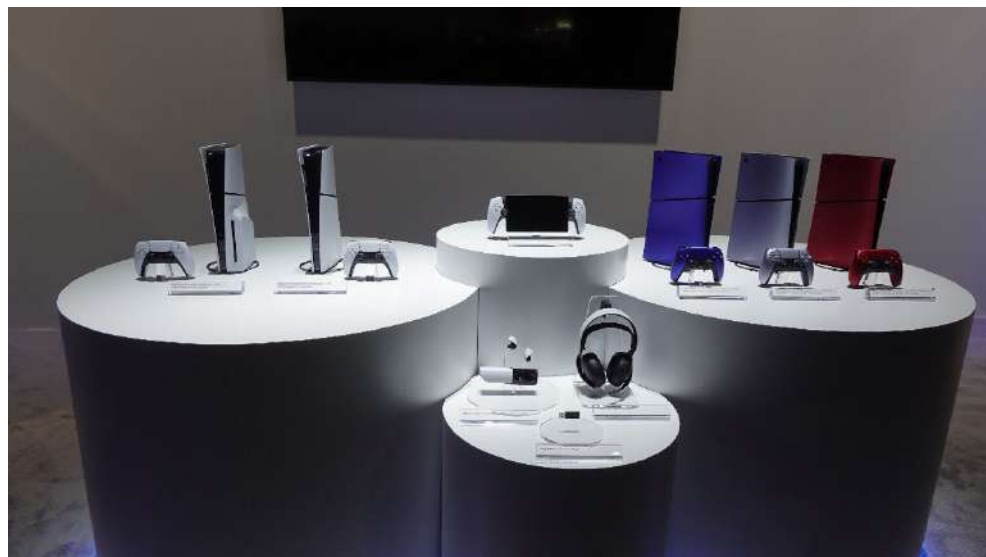
透明状態



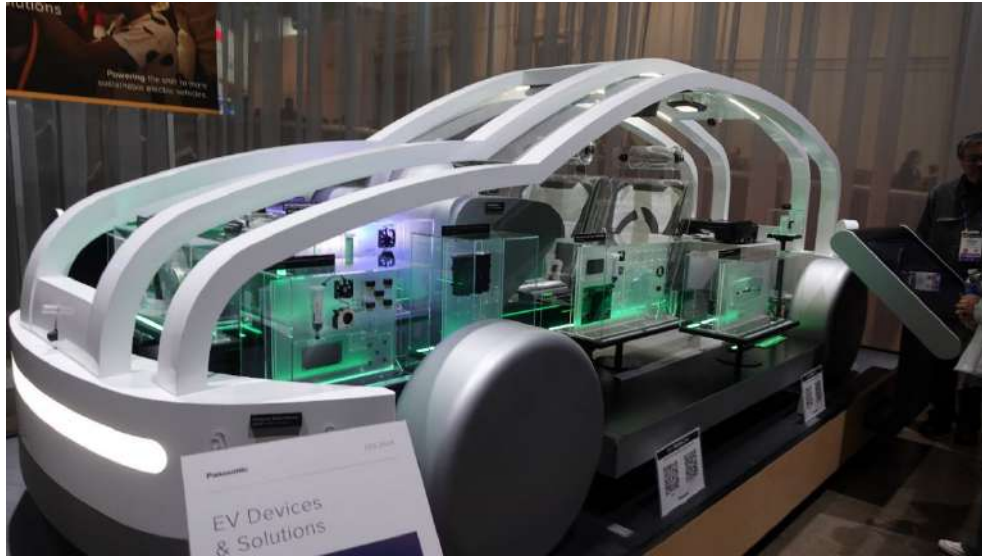
透明状態⇒映像が流れた状態。今回、透明ディスプレイ(TV)の出展が多かった



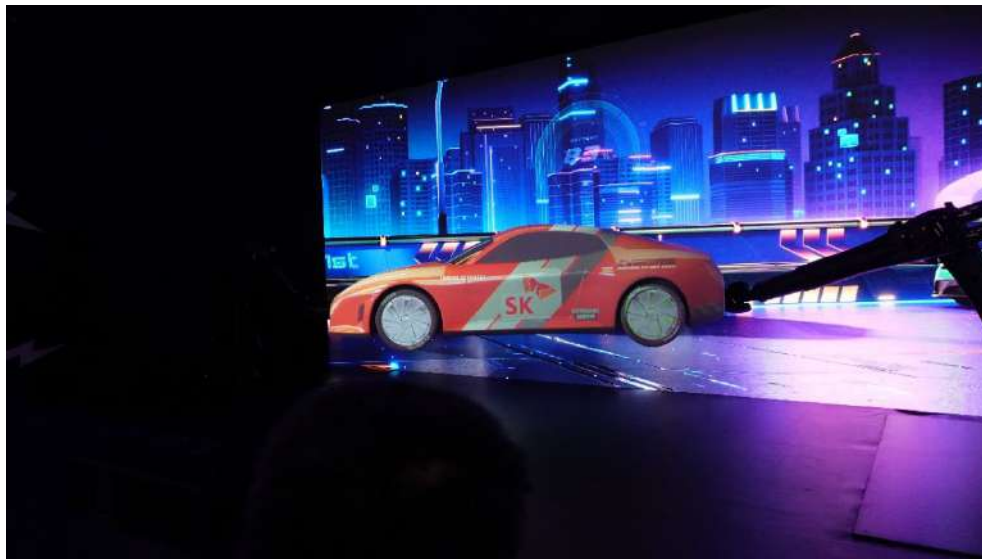
310インチと巨大なM-LED 4K-PLUSのムービーシアター



プレーステーションや映画など、広いブースに数多くのSONY製品が展示されていた



EV用デバイスを中心に、モックアップに展示



まるで遊園地のようなブース



電動キックボードを出展



マッサージチェアなど、ヘルス関連の出展も多かった



小さなブースに、家電、携帯グッズなど様々なものが出展されていた

- ・筆者にとって初めてのCES視察だったが、3日間で視察できたのはTech Eastエリアのみ。スタートアップなどが集まる他の2つのエリアについては見学することができなかった。日本の展示会と規模の大きさが違った。本レポートをご覧になり、CESの見学をしたいと思う方は、十分な時間と出展社の事前の情報、更に体力をつけておくべきである。
 - ・本レポートの通り、家電ショーから変わり自動車関連企業も多く出展していたが、建機などまで展示が有るとは思わなかった。
 - ・EV、FCEV、自動運転、AI、SDVなどが今回のテーマだったように感じた。
 - ・ホンダ、ソニー・ホンダが新型をこのCESで発表し、VINFAST、Toggなど、新興EVメーカーも展示が有った。
 - ・とはいえ、CES本来の家電からなるものも健在で、大型・透明ディスプレイなどCESを楽しむことも出来た。
-
- ・次回レポートでは続編として、TESLAを使った地下の移動システムベガスループとライドシェア本場のラスベガスでのUberをレポートする予定である。

お問い合わせ先: 株式会社東京アールアンドデー営業部
担当: 森竹 智法 moritake.tomonori@tr-d.co.jp
住所: 神奈川県厚木市愛甲東1-25-12
電話: 046-227-1101
HP: <https://www.tr-d.co.jp/>